

令和7年8月8日公表

水産物流通調査
令和6年水産加工統計調査結果

水産加工品の生産量は年々減少している中、
節製品は増加（対前年で4％増）

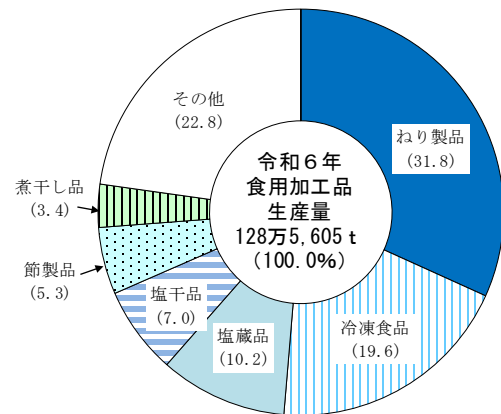
【調査結果の概要】

令和6年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は128万5,605 tで、前年に比べ4％減少した。

主な加工種類別にみると、ねり製品は40万8,262 t、冷凍食品は25万1,715 t、塩蔵品は13万574 t、塩干品は8万9,579 t、煮干し品は4万3,982 tで、前年に比べそれぞれ3％、5％、8％、8％、23％減少した。節製品は6万8,638 tで前年に比べ4％増加した。

生鮮冷凍水産物の生産量は88万5,721 tで、前年に比べ10％減少した。

図1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）



注：表示単位未満を四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区 分	単位	令和5年	6	対前年差	対前年比
食 用 加 工 品	t	1,336,721	1,285,605	△ 51,116	96
うちねり製品	〃	421,356	408,262	△ 13,094	97
冷凍食品	〃	263,668	251,715	△ 11,953	95
塩蔵品	〃	141,648	130,574	△ 11,074	92
塩干品	〃	97,002	89,579	△ 7,423	92
節製品	〃	66,186	68,638	2,452	104
煮干し品	〃	56,788	43,982	△ 12,806	77
焼・味付のり	千枚	6,536,922	6,121,041	△ 415,881	94
生鮮冷凍水産物	t	985,880	885,721	△ 100,159	90

- 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50％以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
- 食用加工品の計には焼・味付のりは含まれていない。
- 令和5年値は2023年漁業センサス結果である（以下同じ。）。

◎ 累年データ

水産加工品生産量の推移（全国）

年 次	食 用 加 工 品					
	計	ねり製品	冷凍食品	素干し品	塩干品	煮干し品
	t	t	t	t	t	t
平成27年	1,681,583	530,137	258,481	13,558	164,566	63,342
28	1,630,347	514,397	253,851	11,489	156,310	56,243
29	1,568,548	505,116	248,443	8,644	148,119	50,224
30	1,586,804	509,569	255,888	7,051	139,569	59,031
令和元	1,538,506	499,920	250,432	6,835	134,784	55,191
2	1,436,880	473,292	229,581	6,458	120,775	52,817
3	1,425,915	483,686	225,349	5,053	117,757	53,632
4	1,383,867	471,382	213,915	4,899	115,139	46,328
5	1,336,721	421,356	263,668	5,846	97,002	56,788
6	1,285,605	408,262	251,715	5,099	89,579	43,982

年 次	食 用 加 工 品 （ 続 き ）					生鮮冷凍 水 産 物
	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の 食用加工品	焼・味付 の り	
	t	t	t	t	千枚	t
平成27年	184,655	6,475	83,833	376,536	7,284,166	1,416,228
28	171,171	7,304	81,523	378,059	7,108,688	1,401,661
29	166,340	6,335	81,061	354,266	6,755,532	1,366,166
30	181,630	6,843	79,595	347,628	6,558,385	1,397,203
令和元	169,955	6,626	78,643	336,120	6,442,555	1,281,265
2	156,386	6,923	71,801	318,847	6,013,442	1,111,074
3	150,782	6,606	66,005	317,045	5,973,749	1,110,308
4	148,510	6,641	63,603	313,450	6,039,856	1,067,324
5	141,648	3,309	66,186	280,918	6,536,922	985,880
6	130,574	3,515	68,638	284,241	6,121,041	885,721

資料：農林水産省統計部「水産加工統計調査」。ただし、平成30年及び令和5年の数値はそれぞれ「2018年漁業センサス」及び「2023年漁業センサス」。

注：食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は40万8,262 tで、前年に比べ3%減少した。

品目別にみると、かまぼこ類は35万8,146 t、魚肉ハム・ソーセージ類は5万116 tで、前年に比べそれぞれ2%、9%減少した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合（全国）

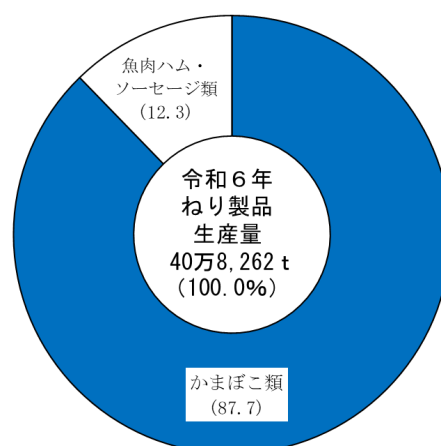


表2 ねり製品の品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	421,356	408,262	△ 13,094	97
かまぼこ類	366,023	358,146	△ 7,877	98
魚肉ハム・ソーセージ類	55,333	50,116	△ 5,217	91

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は25万1,715 tで、前年に比べ5%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は13万9,445 t、水産物調理食品は11万2,270 tで、前年に比べそれぞれ3%、6%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合（全国）

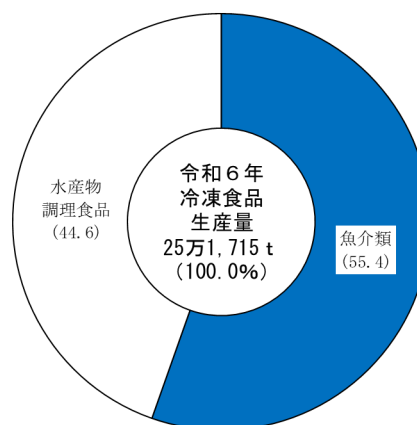


表3 冷凍食品の品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	263,668	251,715	△ 11,953	95
魚介類	144,100	139,445	△ 4,655	97
水産物調理食品	119,568	112,270	△ 7,298	94

(3) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は13万574 tで、前年に比べ8%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは7万6,565 t、さばは1万9,618 t、たら・すけとうだらは3,044 tで前年に比べそれぞれ12%、13%、18%減少した。

図4 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合（全国）

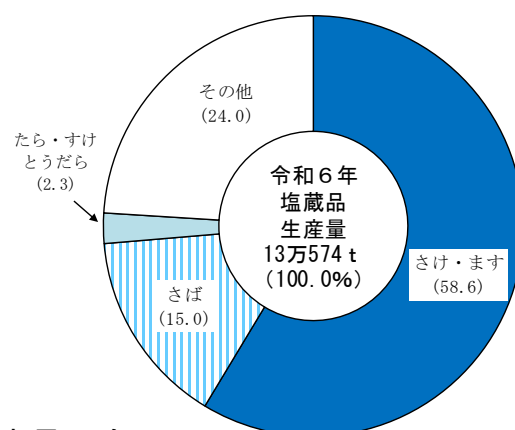


表4 塩蔵品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 蔵 品	141,648	130,574	△11,074	92
うち さ け ・ ま す	87,286	76,565	△10,721	88
さ ば	22,488	19,618	△2,870	87
たら・すけとうだら	3,726	3,044	△682	82

(4) 塩干品

塩干品の生産量は8万9,579 tで、前年に比べ8%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万1,865 t、あじは1万6,659 t、さばは9,469 t、かれいは3,212 tで、前年に比べそれぞれ5%、12%、12%、6%減少した。いわしは7,276 tで、1%増加した。

図5 塩干品生産量の主要品目別構成割合（全国）

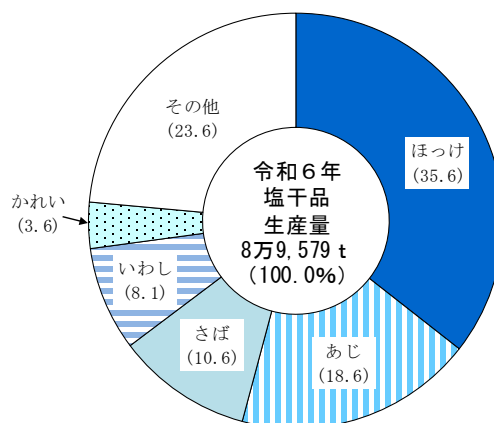


表5 塩干品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 干 品	97,002	89,579	△7,423	92
うち ほ っ け	33,526	31,865	△1,661	95
あ じ	19,008	16,659	△2,349	88
さ ば	10,703	9,469	△1,234	88
い わ し	7,228	7,276	48	101
か れ い	3,435	3,212	△223	94

2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は88万5,721 tで、前年に比べ10%減少した。

主な品目別にみると、いわし類は33万8,364 t、さば類は17万434 t、ほたてがいは6万8,240 t、さけ・ます類は4万7,417 t、かつお類は2万180 tで、前年に比べそれぞれ4%、10%、38%、20%、4%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）

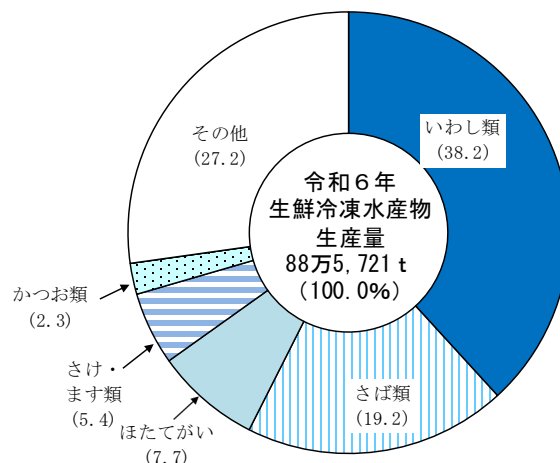


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生 鮮 冷 凍 水 産 物	985,880	885,721	△100,159	90
うち い わ し 類	351,420	338,364	△13,056	96
さ ば 類	189,664	170,434	△19,230	90
ほ た て が い	110,945	68,240	△42,705	62
さ け ・ ま す 類	59,045	47,417	△11,628	80
か つ お 類	21,088	20,180	△908	96

【統計表、調査の概要】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001463228>

【調査結果の主な利活用】

- ・ 「水産加工業施設改良資金融通臨時措置法」(昭和 52 年法律第 93 号)に基づき、融資を行う水産加工施設で取り扱う水産加工品の生産動向を把握するための資料
- ・ 水産物等の輸入割当制度 (IQ 制度) の対象となっている品目の輸入割当枠設定の際の協議資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「水産業」品目別分類「加工食品」の「水産加工統計調査」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/suisan_ryutu/suisan_kakou/index.html#y

- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

水産庁ホームページ

<https://www.jfa.maff.go.jp>

2023 年漁業センサス報告書

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/2023fc/2023fc.html>

漁業・養殖業生産統計

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/index.html

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 消費統計室 食品産業動向班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線 3716

(直通) 03-6744-2048

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線 3589

(直通) 03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries